

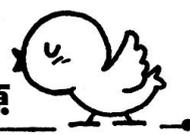


研究通信

呉市立広南小学校

令和7年7月28日(月) 文責:金原

No.2



夏休みに入り、ひたすら駆けぬけた1学期の疲れも少しずつとれてきたころでしょうか……。とはいえ、今後に向けて「時間がある今だからこそできること」が多いのも夏休み中です。子どもたちと会えない毎日を送りながら、1学期を振り返ったり、成績処理をする中で個々の学力を分析したりされていると思います。**個々の弱みや課題は克服してやらなければなりません。**

2～5年生は1学期に実施した「標準学力調査」、6年生は「全国学力学習状況調査」の結果をもとに「どの子がどの領域でつまづいているのか」「学級全体で再度指導すべき事項は何か」等について時間をかけて分析し、2学期以降の授業づくりや個別指導に生かしていけるといいですね。

校長先生がよくおっしゃられているように、**【考え・議論する姿】は道徳科の時間だけではなく、全ての教科、教育活動を通して養われていくもの**です。そのためには**“こんな子どもたちにしていきたい” “だから、こんな授業をしてみよう”**と、ゴールイメージを具現化することも大切です。

主の学習者である子どもたちが「もっと学びたい!」「あっという間に終わった!」そう思えるような授業づくりをより追究する、これを2学期の研究目標の1つにしたいと考えています。

夏休み中に**“子どもたちのためにできること”**を1つ?2つ?見付けられるといいですね!!

「今だからこそできること」には長期戦に備え、心と体を休めることももちろん入っています。

★ 今後の見通しについて【夏休み編】 ★

先日、山崎先生が配ってくださった『夏休み中にお願いしたいこと その②』を参考に…

① 標準学力調査(国語科・算数科) 結果の分析 2～5年生

◆ 『課題』とそれに対する『改善のための取組』についてまとめ、入力

令和7年度→01教務・研究部→01教務→標準学力結果分析→R7結果分析

【8月22日(金)のお帰りにまで】

8月26日(火)に『結果分析報告会』を行います。

② 9月20日(土)『ふれあい参観日』道徳科指導案の作成

◆ この日の授業参観では道徳科の授業を公開することになっています。

◆ 略案の作成(板書計画を含む)・ゲストティーチャーとの連携など

◆ 前年度の略案も参考にしてください。→ **地域・保護者参加型**

令和7年度→01教務・研究部→02研究→道徳参観指導案

※ まとめて起案するので**金原に一部提出**

【8月26日(火)のお帰りにまで】

③ 2学期に向けて『道徳学習プロジェクト』の作成

- ◆ 道徳科と教育活動とのつながりが見える化するために、まずは**2学期のテーマを決め**、学びを深める取組への見通しをもっておきましょう。
- ◆ **道徳プロジェクト(A4)と教室掲示用**の作成をお願いします。
- ◆ 7月末には大型カラープリンターが新しく入るそうなので、起案が通りましたら、教室掲示用の準備を進めてください。

令和7年度→01教務・研究部→02研究→R.1カリマネを意識した授業づくり

※ まとめて起案するので金原に一部提出 **【8月26日(火)のお帰りにまで】**

④ その他について

- ◆ 木下先生が1・3・5年生で取り組んでくださっている『**哲学対話**』における成果について、全体で共有することはできないか・・・いま現在、木下先生と日程と研修内容について**調整中**です。→ 8月28日(木)？
- ◆ その他にも「こんなことで悩んでいる」「もっとよい方法はないだろうか」など“みんなで考える時間・場”を多く設けていきたいと考えています。

★ 校内研修の予定(夏休み編) ★

10月24日(金)には、広南学園研修会で第3学年 大矢先生の授業研究を予定しています。教材名は『**たまちゃん、だいすき**』です。もしも自分だったら「どのような授業を構想するか。」「考えを広げたり深めたりする手立てとして～はどうか。」等、自分ごととして予め考えたうえで、8月22日(金)の学習指導案検討に参加していただけたらと思います。10月に授業をしてくださる大矢先生だけではなく、今後の実践につながる学びとなる機会になるといいですね。

『**主体的に学ぶ姿**』これは、子どもたちだけではなく、私たち教職員にも求められています。教材『**たまちゃん、だいすき**』をお配りしておきますので、プチ教材研究をお願いします。

★ 日程について ★	★ 校内研修の内容 ★
8月22日(金) 9:30~	道徳科 学習指導案検討(：職員室)
28日(木) 9:30~	3年生教室

見取りの検証や実態把握など、取り組んでいただくものばかり…となりますが、もし課題があるとしたら、1学期と同様の指導ではなく、改善策 or 新たな取組が必要となります。

【無理だから…と何もやらないより、やっただめならまた新たなことをやればいい!】

以前、上司の先生から教えていただいたことです。ここからは私の解釈にはなるのですが、「**気付く目をもつ**」それだけでも、目の前にいる子どもたちを変えることができそうですね。